

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し必要に応じてご覧ください。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容が無視して誤った使用方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です

注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

注意喚起

このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

## ■商品の特徵

この時計は、必要ときにデジタル表示を呼び出して使用することができます。シャッター機能や、世界 30 都市及び UTC（協定世界時）の時刻及びカレンダーをボタン操作で簡単に呼び出し表示することができる機能を搭載したコンビネーションクォーツウォッチです。その他、暗いところでも表示が見える E L ライト機能を持っています。

## ■各部の名称

デジタル表示 2

分針

【シャッター表示】

(M) ボタン

時計

(B) ボタン

秒針

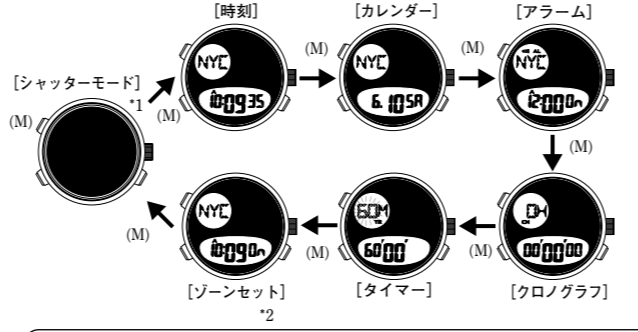
デジタル表示 1

りゅうず

(A) ボタン

\* モデルによってデザインが異なります。

## ■デジタルの各機能（モード）の切り替え



この時計は図の機能（モード）を持っています。  
(M) ボタンを押す毎に図の順でモードが切り替わります。

- \* 1：シャッターモードではデジタル表示が全て非表示になります。
- \* 2：ゾーンセットモードでは、この時計が表示する 30 都市及び UTC（協定世界時）について、各都市毎に表示／非表示の設定やサマータイムの設定を行うことができます。

## ■E L ライトの点灯方法

- ・時刻モード、カレンダーモード、ゾーンセットモードで (A) ボタンを押すと（または押している間）、E L ライトが点灯します。
- ・シャッターモードで (A) ボタンを押すと、（または押している間）E L ライトが点灯し、時刻モードを表示します。
- ・クロノグラフ計測中にスプリットタイムやストップ操作をすると自動的に E L ライトが点灯します。

## ■世界各都市の時刻またはカレンダーの呼び出し方

この時計にあらかじめ登録されている 30 都市及び UTC の時刻または、カレンダーをボタン操作で簡単に呼び出すことができます。

都市名

(M)

(B)

都市名に対応した時刻

＜操作方法＞

(1) (M) ボタンを押して時刻モードまたはカレンダーモードにします。

(2) (B) ボタンを 1 回押す毎に表の順番（時差が増える方向または時差が減る方向）で次の都市の時刻またはカレンダーを表示します。

(B) ボタンを押したまま (A) ボタンを同時に押すと、呼び出し順序（時差が増える方向または時差が減る方向）が切り替わります。

・ゾーンセットモードで非表示 (OFF) を選択した都市は表示されません。

・表中の○印はサマータイムの実施都市（地域）、×印は実施していない都市（地域）を表わしています。

・表の時差、及びサマータイムの実施状況は各国の都合により変更となる場合があります。（表は 1999 年現在のものです。）

### ＜この時計が表示する都市と UTC（協定世界時）との時差＞

NO.	時計の表示	都市名	時差	※1:タイム実施	NO.	時計の表示	都市名	時差	※1:タイム実施
1	UTC	協定世界時	±0	—	17	TYO	東京	+9	×
2	LON	ロンドン	±0	○	18	SYD	シドニー	+10	○
3	PAR	パリ	+1	○	19	AKL	オークランド	+11	×
4	ROM	ローマ	+1	○	20	AKL	オークランド	+12	○
5	CAI	カイロ	+2	○	21	HNL	ホノルル	−10	×
6	IST	イスタンブール	+2	○	22	ANC	アнкаラ	−9	○
7	MOW	モスクワ	+3	○	23	LAX	ロサンゼルス	−8	○
8	KWI	クウェート	+3	×	24	DEN	デンバー	−7	○
9	DXB	ドバイ	+4	×	25	CHI	シカゴ	−6	○
10	KHI	カラチ	+5	×	26	MEX	メキシコシティ	−6	×
11	DEL	ニューデリー	+5.5	×	27	NYC	ニューヨーク	−5	○
12	DAC	ダッカ	+6	×	28	YUL	モントリオール	−5	○
13	BKK	バンコク	+7	×	29	CCS	カラカス	−4	×
14	SIN	シンガポール	+8	×	30	RIO	リオデジャネイロ	−3	○
15	HKG	香港	+8	×	31	BUA	ベネズエラ	−3	×
16	PEK	北京	+8	×					

## ■アナログ時刻の合わせ方

秒針

通常位置

りゅうず

時刻修正位置

(1) りゅうずを引くと秒針が止まります。

(2) りゅうずを回転させて正しい時刻に合わせます。

(3) 時刻を合わせた後、りゅうずをきちんと通常位置に押し込みます。

りゅうずを押し込むと秒針がスタートします。

＜正確に合わせるポイント＞  
秒針を 0 秒位置に止めておき、分針を正しい時刻より 4 ～ 5 分進めてから逆に戻して正しい時刻に合せ、デジタル時刻が 0 秒になったときに りゅうずを押し込むと、正確な時刻に合わせることができます。

## ■デジタル時刻の合わせ方

30 都市及び UTC のうち、いずれかひとつの都市時刻を合わせると、他の都市時刻も自動的に時差換算され修正されます。

【時刻通常表示】

都市名

(M)

(B)

時刻

(1) (M) ボタンを押して時刻モードにします。

(2) (B) ボタンを押して時刻修正したい都市を表示させます。

(3) (B) ボタンを約 2 秒押し続けると、「SUM（サマータイムの略記号）」と「On または OFF」が点滅します。

(4) (A) ボタンを押してその都市のサマータイムの選択 (On) または非選択 (OFF) を切り替えます。

(5) (B) ボタンを押す毎に「[秒]→[分]→[時]→12 時間 / 24 時間」の順で点滅箇所が変わります。修正したい箇所を点滅させてください。

(6) (A) ボタンを押して、点滅箇所を修正します。

・秒の修正状態で、(A) ボタンを押すと、秒が 00 に修正されます。（秒が 30 ～ 59 のときは分が 1 分増えられます。）

・12/24 時間制切り替えは、(A) ボタンを押す毎に交互に切り替わります。

・時または分の修正状態で (A) ボタンを押す毎に表示が 1 つずつ進み、(A) ボタンを押し続けると早修正できます。

(7) (M) ボタンを押して通常表示に戻します。

- \* 12 時間制表示の時は、午前 (A) / 午後 (P) に注意して時刻を合わせてください。
- \* 時刻修正状態で (点滅表示) で約 2 分ボタン操作が行われないと、自動的に時刻通常表示に戻ります。
- \* 時刻修正状態で (M) ボタンを押すと、すぐに時刻通常表示に戻ります。

## ■カレンダーの合わせ方

【カレンダー通常表示】

都市名

(M)

(B)

月、日、曜

(1) (M) ボタンを押してカレンダーモードにします。

(2) (B) ボタンを押してカレンダー修正したい都市を表示させます。

(3) (B) ボタンを約 2 秒押し続けると、「月」が点滅し、修正状態になります。

(4) 修正状態で (B) ボタンを押す毎に「月→日→年」の順で点滅箇所が変わります。修正したい箇所を点滅させてください。

(5) (A) ボタンを押して、点滅箇所を修正します。（(A) ボタンを押し続けると早送りできます）

(6) (M) ボタンを押して通常表示に戻します。

- (1) (M) ボタンを押してカレンダーモードにします。
- (2) (B) ボタンを押してカレンダー修正したい都市を表示させます。
- (3) (B) ボタンを約 2 秒押し続けると、「月」が点滅し、修正状態になります。
- (4) 修正状態で (B) ボタンを押す毎に「月→日→年」の順で点滅箇所が変わります。修正したい箇所を点滅させてください。
- (5) (A) ボタンを押して、点滅箇所を修正します。（(A) ボタンを押し続けると早送りできます）
- (6) (M) ボタンを押して通常表示に戻します。

- ・カレンダー修正状態（点滅表示）で約 2 分ボタン操作が行われないと、自動的にカレンダー通常表示に戻ります。
- ・カレンダー修正状態で (M) ボタンを押すと、すぐにカレンダー通常表示に戻ります。
- ・年の修正範囲は 2000 年～ 2099 です。（修正時のみ表示）
- ・曜は年、月、日の修正により自動的に修正されます。
- ・カレンダーはフルオムールカレンダーです。1 度合わせるとうる年も含めて月末の修正は不要です。
- ・カレンダーを実行しない日に合わせた場合は、通常表示に戻したときに自動的に翌月の 1 日に修正されます。（例：2 月 30 日→3 月 1 日）

## ■アラームの使い方

【アラーム ON 表示】

アラーム On マーク

都市名

(M)

(B)

アラーム時刻

On または OF

(1) (M) ボタンを押してアラームモードにします。

(2) (B) ボタンを押してアラームをセットしたい都市を表示させます。

(3) (B) ボタンを約 2 秒押し続けると、アラームが ON になり、「時」が点滅します。

(4) (A) ボタンを押して「時」を修正します。（(A) ボタンは押し続けると早送りできます。）

(5) (B) ボタンを押すと「分」が点滅します。

(6) (A) ボタンを押して「分」を修正します。

(7) (M) ボタンを押して通常表示に戻します。

- ＜セットの仕方＞
- (1) (M) ボタンを押してアラームモードにします。
- (2) (B) ボタンを押してアラームをセットしたい都市を表示させます。
- (3) (B) ボタンを約 2 秒押し続けると、アラームが ON になり、「時」が点滅します。
- (4) (A) ボタンを押して「時」を修正します。（(A) ボタンは押し続けると早送りできます。）
- (5) (B) ボタンを押すと「分」が点滅します。
- (6) (A) ボタンを押して「分」を修正します。
- (7) (M) ボタンを押して通常表示に戻します。

- ・時刻モードが 12 時間制表示の時は、アラーム時刻も 12 時間制表示となりますので、午前 (A) / 午後 (P) に注意してセットしてください。
- ・アラームをセット後、時刻モードをサマータイムに設定した場合でも、アラーム時刻は替わりません。
- ・アラーム修正状態で約 2 分ボタン操作が行われないと、自動的にアラーム通常表示に戻ります。
- ・アラーム修正状態で (M) ボタンを押すとすぐにアラーム通常表示に戻ります。

＜アラームの ON / OFF＞  
アラーム通常表示で (A) ボタンを押す毎にアラームの On と OFF (Off) が切り替わります。アラームを ON にすると、各モードでデジタル表示に ■■■ が点灯します。

＜サウンドモニター＞  
アラームモードで (A) ボタンを押し続けている間、アラームのモニター音を鳴らすことができます。

## ■クロノグラフの使い方

このクロノグラフは 1/100 秒単位で最大 "23 時間 59 分 59 秒 99" まで計測表示できます。24 時間計測終了後はリセット表示に戻り停止します。また、スプリットタイム（途中経過時間）の計測もできます。

【クロノグラフリセット表示】

時

(M)

(B)

分、秒、1/100 秒

計測

ストップ

スプリットタイム

\* 1：10 秒後に自動的に計測状態に戻ります。

- ＜計測の仕方＞
- (1) (M) ボタンを押してクロノグラフモードにします。
- (2) (A) ボタンを押すとスタートし、計測中に (A) ボタンを押すとストップします。（A) ボタンを押す毎にスタート / ストップをくり返します。）
- (3) ストップ中に (B) ボタンを押すとリセット表示に戻ります。

- ＜スプリット計測の仕方＞
- クロノグラフ計測中、(B) ボタンを押す毎に最新のスプリットタイムを表示することができます。（スプリットタイム表示中は SPL マークが点滅します。
- ・クロノグラフ計測中でも (M) ボタンを押すと、モード切り替えが可能です。再びクロノグラフモードに戻せば、計測の続きを表示することができます。但し、計測が 24 時間を超えた場合はリセット表示に戻ります。

☆スプリットタイムとは：スタート地点からの途中経過時間のことです。

## ■オールリセットについて

電池交換後は必ず、次のオールリセット操作を行ってください。また、時計に強い衝撃や静電気が加わると、まれに時計が異常な表示や動作（表示しない、アラームが鳴り続ける等）をする場合があります。このような場合も次のオールリセットを行ってください。

【オールリセット】

(M)

(B)

りゅうず

(A)

(1) りゅうずを引き出します。

(2) (A)、(B)、(M) ボタンを 3 つ同時に押します。（すべての表示が点灯します）

(3) りゅうずを通常位置に押し込みます。確認音が鳴り、シャッター表示（非表示）になります。

これで、オールリセットは終了です。

オールリセット後は、時刻をはじめ各モードを正しく合わせ直してご使用ください。

## ■製品仕様

1. キャリバー No.：U010
2. 型式：コンビネーションクォーツウォッチ
3. 時間精度：平均月差 ± 20 秒 常温（+5℃～+35℃）携帯時
4. 作動温度範囲：0℃～+55℃
5. 表示機能：
  - アナログ表示 ... 時、分、秒（3 針）
  - デジタル表示 ... ・時刻：時、分、秒、都市名
  - ・カレンダー：月、日、曜、都市名、年（修正時のみ表示）
  - ・アラーム：時、分、On または OFF (Off)、都市名
  - ・クロノグラフ：24 時間計（1/100 秒単位）、スプリットタイム
  - ・タイマー：6 0 分計
  - ・ゾーンセット：都市名の表示／非表示設定、サマータイム設定
6. 付加機能：・シャッター機能
- ・UTC 及び世界 30 都市の時刻及びカレンダー表示機能
- ・E L ライト機能
7. 使用電池：電池 No.：280-44 / 電池コード：SR927W
8. 電池寿命：約 3 年（アラーム音 15 秒 / 日、タイマータイムアップ音 5 秒 / 日、E L ライト 3 秒 / 日、クロノグラフ 24 時間 / 週 使用した場合）

・上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

## ■お取り扱いにあたって

### 警告 防水性能について

- 日常生活用防水時計（3 気圧防水）は、洗濯などには使用できますが、水中での使用はできません。
- 日常生活強化防水時計（5 気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキューバダイビング）などには使用できません。
- 日常生活強化防水時計（10 / 20 気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

防水性について  
・りゅうずを引いた状態では、防水性能に関係なく浸水してしまうのでご注意ください。

・時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。（1bar は約 1 気圧に相当します）

名 称	表 示	仕 様
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3 気圧防水
日常生活強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5 気圧防水
日常生活強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10 気圧防水 20 気圧防水

使用例

水がかかる程度の使用。（洗濯、雨など）

水仕事や、一般水泳に使用。

スキューバダイビング、マリンスポーツに使用。

空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。

水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。

\* WATER RESIST (ANT) △△ bar は W.R. △△ bar と表示している場合があります。

### 注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかりと固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうずやボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。水中で使うことが多い日常生活強化防水時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド（金属製またはゴム製）にお取り替えの上、ご使用ください。
- 日常生活強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。
- 1 年、時計内部に水が入ったり、ガラス面にクモリが発生し長時間消えないときはそのまま放置せず、お買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、ボタンなど）が外れる危険があります。

### 注意 携帯時の注意

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。

### 注意 バンドのお取り扱いについて（着脱時の注意）

- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

### 警告 電池の取り扱いについて

- 幼児の手が届かないところに置いてください。
- 誤って電池を飲み込んだ場合にはただちに医師と相談して治療を受けてください。

### 注意 電池交換について

- 電池寿命切れの電池をそのままにしておきますと、漏液等により故障の原因となることがあります。早めに電池交換してください。
- 電池交換の際は必ず指定電池をご使用ください。

### 注意 時計は常に清潔に

- ケースとりゅうずの間にゴミや汚れが付着したまま放置しておくと、りゅうずが引き出しにくくなることがあります。時々、りゅうずを通常位置のままで空回りさせてください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてお使いください。
- かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。
- かぶれの原因は  
1. 金属、皮革アレルギー  
2. 時計本体及びバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。

- ＜時計のお手入れ方法＞
- ケース、ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
- 皮革バンドは乾いた布で、汚れを取ってください。
- 金属バンド / プラスチックバンド / ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間に付まつたゴミや汚れは柔らかい歯ブラシなどで取り除いてください。
- 溶剤類（シンナー、ペンジンなど）の使用は、変質の恐れがありますのでお避けください。

### ＜文字板や針が光っている場合（ナチュライト）＞

- この時計の文字板や針には、放射線物質などの有害物質は一切含まない人体や環境に安全な物質を使用した塗料「ナチュライト」が使用されています。ナチュライトは、太陽光や室内照明などの光を蓄え、暗い所で発光します。
- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過と共に少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に誤差が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまいう場合がありますのでご注意ください。

- ＜温度について＞
- 0℃～+55℃の温度範囲外では機能が低下したり、停止することがあります。製品仕様範囲外での使用はお避けください。

- ＜磁気について＞
- アナログクォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康服など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

- ＜静電気について＞
- クォーツ時計に使われている IC は、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

- ＜ショックについて＞
- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

- ＜化学薬品・ガス・水銀について＞
- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ペンジン等の各種溶剤及びそれらを含むもの（ガソリン・マニキュア・クレンジング・トイレ用洗剤・接着剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

- ＜保管について＞
- 長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などをよく拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。また、電池寿命切れの電池を入れたまま長期間放置しますと、電池の漏液により機械部品が損傷する場合がありますので、ご注意ください。

## ■保証とアフターサービスについて

1. 保証について  
正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。
2. 修理用品の保有期間について  
当社は、時計の機能を維持するための修理用品を通常 7 年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・バンドなどの外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。
3. 修理可能期間について  
当社の修理用品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境での期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難場合があります。
4. ご転居・ご贈答品の場合  
保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

5. 定期点検（有償）について  
安全に長くご使用いただくために 2 ～ 3 年に一度、点検（有償）を行ってください。防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水機能を維持するために、部品の交換が必要となります。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行ってください。
6. 電池について  
お買い上げの時計に使用されている電池は機能・性能を確認するためのモニター用電池です。お買い上げ後、所定の電池寿命に満たないうちに寿命が切れてしまうことがありますのでご了承ください。
- ※電池寿命が切れた場合は、保証期間であっても電池交換は有料となります。
7. その他お問い合わせについて  
保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

Q32